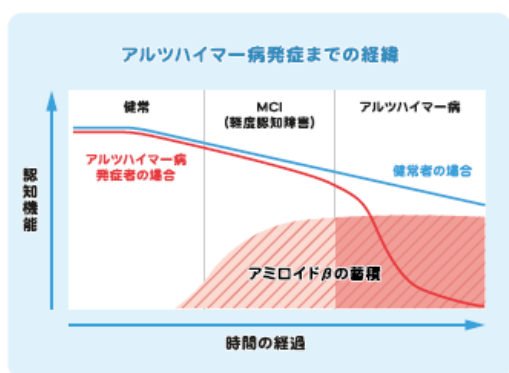


# MCI<sup>+</sup>プラス

## スクリーニング検査

アルツハイマー病前段階の軽度認知障害リスクを血液で調べます



### MCI（軽度認知障害）とは？

MCI（軽度認知障害）は健常の状態から認知症を発症するまでの間の段階と考えられ、**認知症予備軍**といわれています。

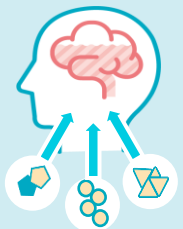
そのまま放置してしまうと約5年でその半数が認知症に移行してしまうと言われていますが、この段階で適切な予防や治療を行うことによって、

認知症発症を防ぐまたは遅らせることができることが最近の研究で明らかになっております。

## プラスのヒミツ

より**早期**のスクリーニングが  
より**高感度**で行えるようになりました

いままで



アミロイドベータ  
・排除する  
・毒性を弱める  
3種のタンパク測定



アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドが蓄積されて、神経細胞がダメージを受けることで発症すると言われています。

従来検査ではこれらを排除する蛋白質を測定することでMCIのリスクを評価していました。

プラス



- ・ アミロイドベータ関連物質 **4種類**追加
- ・ 血管ダメージに関わる **2種類**の物質を追加

全部で **9種類**の物質を測定解析

新しくなった検査では従来の蛋白質に加えて、新しく4種類のアミロイドベータ関連物質を測定しております。また、最新の研究で**血管のダメージ**が認知症に関連していることがわかっておりましたので、新たに血管に関連する物質を測定し、解析に組み込んでおります。新しい解析手法により、従来の検査よりも高い感度でMCIのリスクを評価することが可能になりました。

早期にMCIリスクを調べて、認知症になる前の予防に取り組みましょう



